

やすらぎ 短信

平成 28 年
10 月号

十月十七日

神嘗祭(かなめさい)



来る十月十七日、伊勢神宮で神嘗祭が斎行されます。このお祭りは、天皇陛下が新穀を天照大御神に奉るお祭りです。伊勢神宮の祭事の中で最も重要なお祭りの一つです。十一月二十三日に宮中や全国各神社で行われる新嘗祭(いなめさい)に先立つ収穫祭で、宵と暁の二度、由貴大御饌(ゆきのおおみけ)といわれる丁重に調理されたお供え物を奉ります。この日に、天皇の命を伝える使者「勅使」(ちよくし)が参向し、幣帛(へいはく)奉納の儀が行われます。お米を主食とする日本人にとって大切な日です。

秋季例大祭並びに浦幌神社御創祀百二十年奉祝祭を斎行

去る九月二十日、秋季例大祭に併せまして、創祀百二十年奉祝祭を斎行致しました。お祭りでは子どもたちによる神楽舞・剣道・空手道の奉納もあり、お祭りに花を添えて頂きました。



宮司の一筆

祝 浦幌神社御創祀百二十年

本年は浦幌神社御創祀百二十年の節目を迎えました。当社は明治二十九年、伊勢の神宮より天照皇大神宮の神璽を受けて、坂東農場（現総合スポーツセンター付近）に祠を建立、天照皇大神を奉祀したのがはじまりです。この節目にあたり、町博物館では、様々な企画展を開催して頂き、当社に残る資料を一から紐解き、百二十年間の歴史を丹念に調べて頂きました。学芸員の持田先生からお話を伺いますと、先人の方々が苦勞に苦勞を重ねて神社を建立し、様々な災害や飢饉などの苦難を乗り越え、氏子の「心の拠り所」として後世に残そうと氏子一丸となって神社を維持してきた様子を改めて知ることができました。九月二十日の秋季例大祭では、御創祀百二十年奉祝祭を併せてご奉仕させて頂き、ご守護下さる神様と神社を支え後世へ伝えて下さった先人に感謝の祈りを捧げました。

秋季乳神神社祭を斎行

去る九月二十

一日午前十一時より、秋季乳神神社祭を斎行致しました。木下和枝奉賛会長をはじめ氏子崇敬者が参列し、日頃の感謝とそれぞれの願い事をご祈願致しました。



秋季社日祭を斎行

去る九月二十一日午後一時より、秋季社日祭を斎行致しました。この社日祭は、農耕神に、農事安全と豊作を祈願するもので、先人の方々が祀ってきた社日碑の大前で毎年、春と秋の二回行われます。今年は何年にもない台風被害を受け、農家の方々は大変ご苦勞をされております。収穫に当たり、今後天候が穏やかに、そして農作業事故等がないように参列者一同お祈りを致しました。

神主さんのお仕事学ぶ

九月十五日に町博物館主催の夜学講座で「神主さんのしごと」と題して講演をさせて頂きました。その内容が十勝毎日新聞（九月二十四日）に掲載されたのでご紹介致します。

神主の仕事学ぶ
博物館夜学講座
【浦幌】町立博物館の夜学講座「神主さんのしごと」が15日、同館特別展示ホールで開かれた。

開催中の同館企画展「浦幌神社の120年」の関連事業。浦幌神社の背古宗敬宮司が講師を務め、町民ら30人が受講した。背古宮司は「神主のしごと」の基本は、神様に祈ることと話し、春季乳神神社祭や夏季神輿渡御祭（みこし祭り）、七五三祭などは毎月行われる行事の他、結婚式や地鎮祭、お守りの授与など多彩な仕事を紹介した。また、どうしたら神主になれるか、神主の身分や装束、参拝者のお参りの仕方なども解説した。受講者は鳥籠子（えぼし）や笏（しやく）に触れて、堅さなどを実感。町内の60代男性は「うるして塗り固めた鳥籠子は力チカチに堅かった」と驚いていた。

同館企画展は10月2日まで。開館は午前10時～午後5時。無料。入場無料。（田子神一通信員）

浦幌神社行事予定

十月一日 月次祭
十月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八